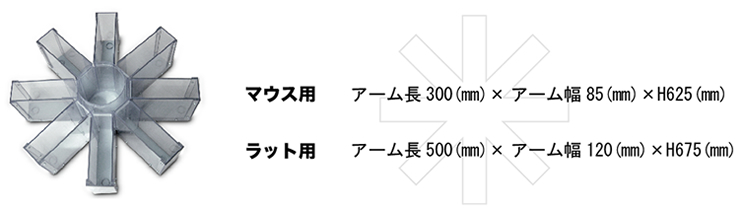
**ペン剣基金企画書**

4322　鈴木康嵩

1. 目的　ハツカネズミと8方向放射状迷路での実験を通じて、記憶と視覚の関係について調べる。
2. 目標　実験の成果を文化祭、生物部の集いで発表することを目指す。生物部の集いとは、関東生物部連盟が開催し、各校生物部が研究成果を発表する会である。毎年2月に開催される。
3. 必要なもの
   1. ハツカネズミ 数頭 円
   2. ケージその他 未定 円
   3. 8放射状迷路 1台 300000円 （場合によっては自作）
   4. 合計 300000円
4. 既に明らかになっていること
   1. （記号を覚えられる根拠を）
5. 予備実験
   1. ハツカネズミが8放射状迷路に取り付けた8種類の記号（●▲■★など）から、特定の記号（ここでは●とする）がある道のみを選択するように学習させる。但し、何を以て学習したとみなすかは未定である。
6. 実験
   1. ●以外の記号のうちいくつかを取り付け、●があった道にたどり着くかを調べる。
      1. ●以外すべて取り付ける。
      2. ●と、その両隣を取り除く。
      3. ●の反対側のみ取り付ける。
      4. ●のみを取り付ける
7. 参考サイト
   1. 株式会社シンファクトリー http://www.shin-t.co.jp/index.html
   2. トキワ科学器械株式会社 http://www.tokiwakagaku.co.jp/